



～ 夢ひとすじに ～  
宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 26 年度 第 8 号  
平成 26 年 11 月 4 日 (火) 発行  
さいたま市立宮原中学校  
メールアドレス  
miyahara-j@saitama-city.ed.jp  
ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

## 「心には強大な力が隠れている」

校長 やました 山下 せいじ 誠二

宮原中の合唱コンクールの素晴らしさは、歌い終わった後、どの学級も自分のクラスが賞を取れるのではないかと期待感をすべての生徒が抱いていることだと思います。今年は、10月17日に市民会館おおみやで開催されました。各学年、学級とも素晴らしい歌声で、聴かれた保護者の皆様も感動されたのではないのでしょうか。そしてこの日、さらに嬉しいニュースが……。大木部長(3年)率いる科学部が「土を使わずに植物を育てる条件」と題し、埼玉県科学教育振興展覧会地区展において最優秀賞を受賞したという知らせが入りました。地道に研究を続けている科学部の生徒に拍手を送りたいと思います。

さて、今年の市中学校駅伝競走大会は、雨で順延され、24日に市内60校が参加し開催されました。まずは女子。10時の号砲でスタートした青山さん(2年)が、各校のエースが揃う中、13位で2区へ。初出場の柳川さん(1年)が、区間6位の走りで10位に押し上げ、3区の佐藤さん(2年)が区間賞の走りで6位に浮上、5区は、森戸さん(1年)が区間4位の走りで4位に。最終5区では、五十嵐さん(2年)が、粘り強い走りで6位でフィニッシュ。念願の県大会出場を決めました。(女子は7位までが県大会出場)



11時30分からは、いよいよ男子の3連覇がかかったレース。試走では、昨年度の宮原中がたたき出した大会記録を大幅に更新できる陣容が揃いました。1区、柏君(2年)は、県新人大会でも上位に位置する実力者。しかし……。スタート後、100m付近で接触、転倒し、最下位からのスタート。顔と膝に大きな傷を負いながらも一人ひとりを抜きながら力走。12位でタスキを2区の片岡君(2年)につなぎました。ここから、層の厚い宮原中の真骨頂。片岡君で2位まで上がり、3区の黒須君(2年)は、中間点を前にトップに進出。あとは4区、遠藤雅也君、5区、遠藤優介君の3年生が、昨年、一昨年とメンバーに入れなかった悔しさをぶつけ、後続をさらに離しました。そして最終6区は、野球のシニアでも頑張っている原田君(2年)が余裕のゴール。昨年度の大会記録を1分29秒更新、2位の与野南中を1分44秒も引き離す圧勝でした。

「駅伝は何か起こるかわからない」という言葉をよく耳にしますが、今年の箱根駅伝でも、し烈なシド権争いが続いた8区では、宮原中出身の拓殖大学1年、宇田朋史君が並走していた東農大と中大の選手と接触して転倒。しかし、執念の力走で10位をキープ。宇田君の踏ん張りに、9、10区の4年生が応えシド権を確保しました。聞くところによると、宇田君は、中学時代も転倒を経験し、当時の顧問、小熊先生からのアドバイスを力に変え、箱根駅伝を走るまで成長した卒業生です。このようにアクシデントを乗り越える力が、伝統的に宮原中の生徒にはあります。自分の走りに徹した選手、そして裏方として頑張ってくれたサポートメンバーに感謝したいと思います。

人間には、自分も知らない潜在力があります。心が澄んでくると、いつしか無限のパワーが出る時があります。心には強大な力が隠れています。その力が、どうか県大会で発揮されますように！県大会は、11月8日、熊谷スポーツ文化公園で開催されます。多くの皆様の応援をよろしく願います。